



酒井健議員の質問

合併20年

Q 下田地区の人口減少に鑑みた総括と検証を伺う。

A 移住・定住施策による誘導、交流・関係人口拡大に向け、アウトドアの推進や、ただ米ブランド事業等さまざまな取り組みを実施、今後も必要な取り組みを行う。

Q 下田地区の最優先要望「道心坂の改良」について、市が施工するのに支障はあるのか。

A 経費を別に考え、特段の支障はない。

Q 概算経費算出に要する経費を伺う。

A 1000万円を超える金額が想定されるが実施する予定はない。

Q 中山間地域等直接支払交付金は、試算すると1億円を超える増額が期待できる。再調査し取り組むべきではないか。

A 現時点では考えていない。制度の周知と求められる地域に丁寧に対応する。



価格の高騰が続く米

米の安定供給を補償する抜本的な政策転換が求められる。今年も米不足にならないように増産すべきだ。備蓄米も増産すべきだがどう考えるか。

A 令和7年産米の生産については、農業再生協議会で検討し、前年実績比102%を目安として決定し、各生産者に提示された。備蓄米の数量は国が判断するもの。

酪農家支援

Q 令和の酪農危機と言われる。配合飼料は急激に高騰し高止まりしている。支援するとともにWCS用稲を増産すべきだ。

A JAGグループの各関係機関等が連携して、その必要量に応じてWCS

米価の高騰

Q 農家の利益確保のため、ふるさと納税返礼品としての活用の見解を伺う。

A 乾燥施設、精米・梱包等の設備がなく、J/A等に委託している農家は難しいが、他の事業者等と連携により可能となり得る。

大雪への対応

Q 下田地区の上流部は豪雪地帯である。災害救助法の対象地区とならないのか。

A 県の指定観測所である下田分署の最大積雪深が113センチで対象とならなかったが、状況によりよって積雪の積雪深も参考に適用基準にとらわれないことなく県に相談する。



運場の今冬の積雪 最大299cm

用稲の生産が増加するよう支援を行っている。



WCS用稲

農業用水路の安全対策

Q 新潟県内ではこの10年で41人が用水路に転落し、死亡している。土地改良区と協議し安全対策をとるべきだ。

A ハード対策の効果が高いが現実的に難しい。関係機関や団体、地域と一緒に事故防止の啓発に努めたい。

栄サービスセンターの職員体制

Q 合併して20年になる。栄庁舎の職員は合併前に90人いたが、今はパート職員を含めて10人しかいない。体制を強化すべきだ。

A 一時的な混雑時には応援体制をとっている。



運場の今冬の積雪状況



燕幸男議員の質問

道路陥没の防止対策について

Q 本市では、道路陥没の事例は近年どのような状況なのか。また、道路陥没の防止対策についての取り組みはどうか。

A 市道の道路陥没は、おおむね直径が約10センチから50センチの範囲で発生。令和3年度で43件、4年度に60件、5年度に53件、6年度は2月末時点で34件発生。防止対策として、包括的維持管理事業者に対し、道路パトロールにおいて陥没が疑われるような変状について細心の注意を払い、必要な対策を講じるよう指示した。

Q 上下水道管の更新や補修につながるための対応はどうか。



長橋一弘議員の質問

三条市に対する住民訴訟について

Q 以下について質問

- ・三条市の抗弁に「当初の目的を遂行するべくまい進したい」とあるが、当初の目的について
- ・訪日客、外国人消費額最高の中において中国本土からの訪日客伸び悩みについて
- ・三条市のインバウンド需要開拓の考え方について
- ・一者(特別命令)随意契約の合法性について
- ・一者(特別命令)随意契約理由書について
- ・一者(特別命令)随意契約先のワンテーブルがコロレに再委託したことについて
- ・再委託契約書および再委託先(コロレ)への3800万円の支払い確認および金の流れについて
- ・覚書締結日の確認について
- ・三条市の証拠説明書の中の市議会一般質問議事録の立証趣旨について
- ・善管注意義務違反について
- ・ワンテーブル島田前社長に対する印象操作について
- ・結審を急ぐことについて
- ・350万円の翻訳業務について

A 衛星技術を活用した水道管路の漏水調査を行うとともに、下水道管路については、主要幹線管路を中心に、目視またはテレビカメラによる点検、調査を計画的に実施している。

ヒアリングフレイル予防について

Q 難聴によるさまざまなリスクや難聴によるフレイルへの影響をどのように考えるか。

A 難聴によるリスクは、認知症、うつ病等の発症を引き起こす要因となること。

Q 早期発見のために市としてヒアリングフレイルチェックを行うことはどうか。

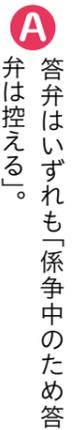
A 市としては行わないが、市の健診会場でのチラシの設置やSNS等により同チェックを行うためのアプリケーションを紹介することで、早期の気づきを促したい。



坂井良永議員の質問

米対策について

Q 米が不足し価格が高騰している。政府は備蓄米をやっと放出するが、対症療法にとどまらず、主食である



白鳥賢議員の質問

三条市未来の学校検討委員会について

Q 議題設定や運営手法が適正であったか見解を伺う。

A 少子化により学校の集団形成に支障が出るのが予想されることから、地域や保護者から現状を認識いただき、学校統廃合について前向きな議論を行った。提言書を踏まえ今後さらに検討を重ねてゆく。



学びの環境確保のため学校統廃合について前向きな検討を重ねる